

地方の全体的な過疎化・高齢化・人口流出が進んでいる
（これはあつせんよね。問題もよく読んでみて下さい！）

現状は分ると思うけどいいね。すると
後の記述に読得力が増える。

2022 合格目標 公務員試験

テーマ6 地方の経済 p47

地方においては、過疎化、高齢化が進行するとともに、人口流出に歯止めがかからない状態となってしまう。原因としては、高賃金や働きたい場所を求め若者が都内へと出て行ってしまい、結果残された住民の高齢者率が高くなり、商店街などに活気がなくなり、シャッター街や空き家が多くなり、過疎地域となってしまうことが考えられる。

→原因と結果、現状
12月の記述でなぜにひいてある。
用語の並べ方、便い方、もう一度確認してほしいね。

このような現状を打破するためには、若者を過疎地域となっていてところに呼び寄せる、引き留めるための魅力を見出すことが考えられる。例えば、その地域特有の食物やイベント、町並みなどを全面に押し出し、アピールすることで、若者を引き寄せることが考えられる。例えば富山県富岡市では、四百年余りの歴史を持ち、伝統工芸や祭礼、歴史的建造物が多くあり、観光業として盛り上がりを見せている。埼玉県川越市では、川越祭りや、蔵造りの町並みから有名となりメディアでも露出が多くなった。このように、その地域で独自性を見出していくことが、地域活性化につながり、過疎化を解決していくことになると思われる。

またインフラ整備も課題である。上述した川越市では、車道の道幅が狭く、道路わきを人が通ることで車が通りづらくなり、度々渋滞が起きてしまう。また、観光バスが通ろうにも道幅が狭いところが多いがゆえに、渋滞はもちろん、内輪差で人が巻き込まれそうになることがあり、危険であるとの苦情が寄せられている。多くの費用はかかるものの、観光業として盛り上がりを見せ続けるためにも、インフラへの費用支出は欠かせないことであると考えられる。

インフラの改善は観光バスでいってはいけません。
空き家としてはこれは必要なものですね。

空き家への対策も忘れてはならない問題である。空き家は不良グループのたまり場になったり、火事が起きる原因となったり、様々な問題の温床となる。近隣住民への迷惑となり、町全体のイメージダウンへとつながりかねない。対策としては、空き家を何かのお店として再利用することが考えられる。例えば静岡県浜松市では、空き家店舗を学生などの企画イベントに活用することで、オープンな商店街として人気が高まった。独自性を持った店舗が出店する場の価値が高まり、新機軸店が増加し、新たな来訪者が増加している。過疎化している街に来てもらいたい、住んでもらいたいと思われるためには、まず安全が第一であり、これらの問題を解決することで過疎化解決への糸口となるとと思われる。

→このようにして
どう対策するの？

→口調、言い方、もう少し
論理と通じやすい表現を
工夫してみよう。
下し。

賃金格差も問題である。同じ国内でも都市と地方の格差は大きく、最も低い県で、2021年7月14日時点で792円、最高で東京都の2021年10月時点の1041円であり、1.3倍ほどである。賃金が高いところでは働き口も多く、多くの若者は働き場所を求め都内へと出て行ってしまい、最低賃金の全国一律化が主張されているが、ぜひ考えてもらいたいことである。

→一般市民が述べるような口調ではないよ。
公務員試験ではあつせん。行政とどう取り組むべきか、という視点で記述することをお願いしよう。

このように過疎となる問題は多くあり、これらを一つずつ解決していくことで、過疎地域を減らせるのではないかと考える。

具体的な数値を挙げたい
3つはGOODです。

具体例を挙げたい
（これはGOODです）
東京は居住費や物価も高いのでいいですか？

評: 具体的な地方の政策に触れているのは良いと思える。
・もう1つ、問題文をよく読んで、何で、どうして
「順位」にこだわっているか、構文として何を求めているか
もよく見ることがある。

東京以外は過疎化・高齢化、人口流出進んでいる
→ 良いことだ。→ 若者を地方に呼び戻す。

と即断して、~~先~~213-222 書き並べてあげた

説得力のある~~答~~にはなりません。

“地方”という点、押さえている。問題文もその点を
意識した文章になっているよ。

文中のコメントも参考に書き直してみよう。
下をい。あともう一度見よう。

元に戻って下をい。応援している

小村